

2021年8月3日

各位

富田薬品株式会社
代表取締役社長 富田正夫

職域接種用ワクチンの配送時の管理不備について

弊社が業務を受託し実施中の職域接種会場向け新型コロナウイルスワクチンの配送業務において、管理体制の不備により一部ワクチンを廃棄せざるを得ない事態に至ったことをご知らせいたします。

医薬品流通を通じ、地域社会の人々が健やかな生活を送られることを願い事業活動に取り組んでおります弊社が、管理体制の不備により貴重なワクチンを廃棄する事態に至ったことは、地域社会及びステークホルダーの皆さまの信頼を裏切るものとして重く受け止めており、心よりお詫び申し上げますとともに、再発防止に向け真摯に取り組んで参ります。

1. 事案の概要

7月27日（火）午後、商品管理担当者がワクチン搬送用ディープフリーザー（以下DF）の蓋を開けたところ、ワクチンがDF内に残っていることを発見しました。調査した結果、7月21日（水）に熊本市内の職域接種会場へ納品されるべきワクチンの一部であることが判明致しました。発見した時点で6日が経過しており、結果として1,200回分のワクチンが使用不可となり廃棄することとなりました。なお、上記判明後、接種会場へは速やかに代替ワクチンをお届けすることができており、接種スケジュールへの影響は出ておりません。

2. 再発防止策

弊社では下記の対策を実施し、再発防止に真摯且つ徹底的に取り組んで参ります。

- 1) オペレーションチェックリストの見直しと運用教育
- 2) 配送業務に携わる全従業員向け研修実施
- 3) 社内業務手順書の見直しと教育研修の実施

以上